

## 法学部専任教員 2017年度研究業績

石田 若菜

【学会報告その他】

「大学入試とアファーマティブ・アクション—Fisher v. University of Texas at Austin, 136 S. Ct. 2198 (2016)」比較法雑誌51巻3号(2017.12) 249-277頁。

松原光宏、阿部純子、石田若菜、太田航平、土屋武「判例回顧と展望 2017 (憲法)」法律時報5月臨時増刊号90巻6号(2018.5) 3-26頁。

【現在の研究テーマ】

家族と憲法

井上 久士

【学会報告その他】

撫順守備隊と平頂山事件(第13回平頂山事件国際シンポジウム 9月16日 中国・撫順)

【研究テーマ】

20世紀30年代40年代の中国政治と対外関係

海老澤 豊

王子田 誠

【学会報告その他】

・判例評釈「情報源を公にしないことを前提とした報道機関への重要事実の伝達と、インサイダー取引規制における『公表』」(速報判例解説 Vol. 21 新・判例解説Watch129-131頁2017.10)

【現在の研究テーマ】

流通市場における会社の不実開示責任など

大沼 洋一

小貫 幸浩

織田 博子

上河内千香子

【学会報告そのほか】

「買取請求権の時価」、「建物の老朽化と建替え」、「被災マンションの建替え」、「建替え決議における再建建物設計の概要」鎌野邦樹・花房博文・山野目章夫編「マンション法の判例解説」(2017年 勁草書房)

菊田 秀雄

草地 未紀

熊田 俊郎

倉島 安司

黒田 基樹

【著書】

『真田信之』〈シリーズ・織豊大名の研究5〉(編著)(戎光祥出版、2017年4月、総頁214)

『井伊直虎の真実(角川選書586)』(KADOKAWA、2017年11月、総頁278)

『羽柴家崩壊 茶々と片桐勝元の懊悩(中世から近世へ)』(平凡社、2017年7月、総頁278)

『戦国大名の危機管理(角川ソフィア文庫)』(KADOKAWA、2017年11月、総頁251)

『北条氏康の妻・瑞溪院 政略結婚からみる戦国大名(中世から近世へ)』(平凡社、2017年12月、総頁287)

『関東上杉氏一族〈シリーズ・中世関東武士の研究22〉(編著)』(戎光祥出版、2018年1月、総頁393)

『北条氏政(ミネルヴァ日本評伝選179)』(ミネルヴァ書房、2018年2月、総頁301)

『足利成氏とその時代〈関東足利氏の歴史5〉(編著)』(戎光祥出版、2018年2月、総頁329)

#### 【学術論文】

「小田原北条家の相模経略」(関幸彦編『相模の武士団』吉川弘文館、2017年9月、pp.210-224)

「真田信之発給文書における印判の変遷」(戦後史研究会編『戦国期政治史論集 東国編』岩田書院、2017年12月、pp. 245-270)

「沼田衆恩田越前守家文書の紹介と検討」(『武田氏研究』57号、2017年12月、pp. 29-40.)

「内容が判明した大道寺政繁書状」(『戦国史研究』75号、2018年2月、pp. 36-37)

「真田信繁と大谷吉継、そして越前松平家」(『福井県文書館研究紀要』15号、2018年3月、pp. 1-14)

「真田信之・信吉期沼田領における請取状類の紹介」(『駒沢史学』90号、2018年3月、pp. 395-422)

#### 竹内 健互

##### 【学術論文】

##### ① 教唆概念の構造と位相

駿河台法学31巻1号 2017. 9

##### ② 「刑罰のコミュニケーション的機能について—表出的刑罰論は第三の選択肢となりうるか—」伊東研祐他編『市民的自由のための市民的熟議と刑事法(増田豊先生古稀祝賀論文集)』(成文堂 2018年)

##### 【現在の研究テーマ】

教唆犯論・刑事事実認定論

**千草 孝雄**

【論文】

「行政史に関する若干の考察(2)」駿河台法学第31巻第1号

【研究テーマ】

行政と倫理

**林田 光弘**

【論説】

「取得時効の要件となる占有の継続性に関する一考察—フランス法の検討を通じて—」法学雑誌63巻4号83-128頁 (2017年)

【研究テーマ】

取得時効と占有

【判例研究】

宅地建物取引業法30条2項但書所定の営業保証金取戻請求権に係る消滅時効の起算点(最高裁判所平成28年3月31日第1小法廷判決)」法学雑誌63巻1号131-146頁 (2017年)

**福田 二郎**

【現在の研究テーマ】英米文学

**吉田 恒雄**

【論文】

「児童虐待防止法制をめぐる現状と課題」市民と法108号35～41頁。2017年12月

【その他】

編著『児童虐待の援助法に関する文献研究(第8報) 児童虐待に関する法制度および法学文献資料の研究第7期(2012年4月から2014年3月まで)』子どもの情報研修センター (2017年6月)

【研究テーマ】

児童虐待防止法制の研究、子どもの権利擁護の研究